


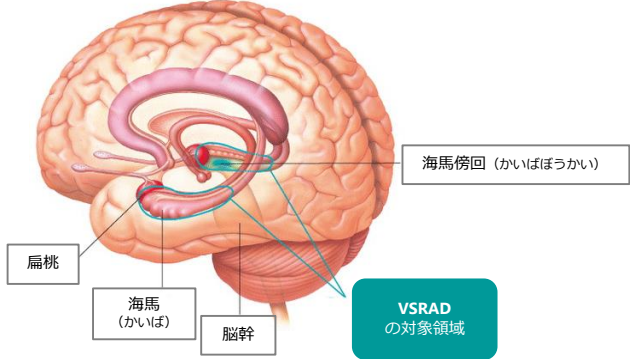
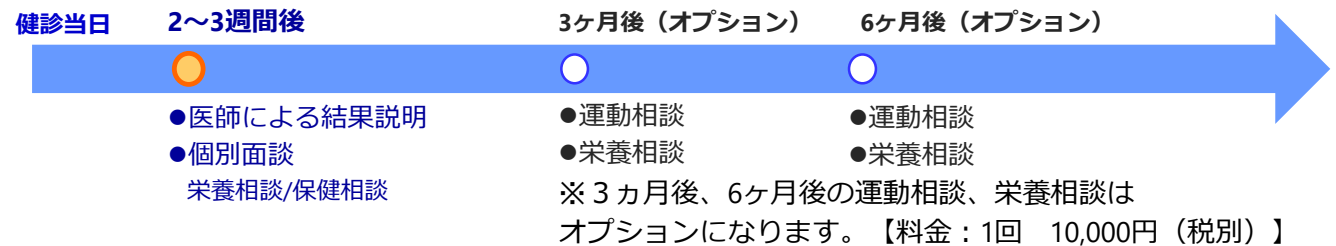


MCIのリスクを調べて認知症の予防と改善につなげましょう

	MCI健診検査項目	どんな検査？
採血検査 	MCIスクリーニング検査	アルツハイマー病は、アミロイドベータという老廃物が脳に蓄積し、神経細胞を破壊することで発症します。この検査では、アミロイドベータを排除する機能を持つ血液中の3つのタンパク質を調べることでMCIのリスクを判定します。
	ビタミンB1・ビタミンB12・葉酸	各種ビタミンの量をはかります。これらの4種類のビタミンが欠乏すると様々な神経症状が現れてきます。
	TSH・FT3・FT4	甲状腺の状態を調べます。甲状腺ホルモンが欠乏すると認知機能障害、うつ状態、種々の身体症状が現れてきます。
神経心理学的検査 	MoCA-J (モントリオール認知評価検査)	MCIのスクリーニング検査として国際的に普及している検査です。認知機能（注意機能、集中力、実行機能、記憶、言語、視空間認知、概念的思考、計算、見当識）について、約10分という短い時間で評価することができます。合計で30点満点、26点以上が健常範囲とされています。
脳・MRI検査 	VSRAD (ブイエスラド) (Voxel-based Specific Regional analysis system for Alzheimer's Diseaseの略)	MRIを用いて、海馬傍回付近における脳の萎縮の度合いを検査するものです。アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症では、海馬傍回付近の萎縮が最も早期にみられます。 ※海馬傍回とは、記憶の形成・保持・再生をつかさどる領域です。 

- ▶ MCIスクリーニング検査の結果が出るまでに2~3週間かかります。
- ▶ 結果説明は医師が行います。

認知症予防ドック後は、専門スタッフがあなたの運動&食事をサポートします



<保健相談：保健師・看護師>

- ・ロコモ度テスト (問診、実技2種目)
- ・認知症になりにくい生活習慣のご紹介

ロコモ度テストイメージ



<栄養相談：管理栄養士>

- ・栄養診断システムを用いた栄養状態の評価・判定
- ・認知症予防に効果的な食事の紹介
(食事環境や生活スタイルに合わせた食事方法の提案)

※ロコモ：ロコモティブシンドロームの略で運動機能症候群のこと。